

～プロセスが与えてくれるもの～

『カフネ （講談社 阿部暁子）』という本を読んだ。2025年の本屋大賞に選ばれ、各市町の図書館では予約が何人もついている話題の本である。ごく短い言葉で乱暴に要約すれば「料理をつくること」「食べること」を通した人々の再生が描かれている。

誰かが作ってくれた温かい食事に、体だけでなく心が満たされた経験は誰にでもあるのではないだろうか。食事には栄養補給以上の何かがある。

獣医師として上野動物園のパンダやコアラなどの導入に力を尽くした中川士郎氏が、非常に示唆に富む話をされている。（生命尊重ニュース平成18年3月号より要約）

動物園のゴリラの成長のために、研究の末考えられた「ゴリラケーキ」のおかげで、ゴリラは飛躍的に成長し長生きするようになった。しかし数年後、世界中のゴリラが自分の毛を手あたり次第抜いてしまう病気に苦しむことになった。野生のゴリラは一日8時間以上、野山を歩きながらの食べ物探しに費やしている。与えられるだけのゴリラケーキは体を成長させることはできたが、心の栄養を与えることはできなかったのである。私たちが一番問題にしなければいけないのは、「プロセスを省略しないところに、心の充足がある」ということである。

料理を作る楽しみ、待つ楽しみ、そして食べる喜び。そのプロセスの中で私たちの心と体は満たされている。

プロセスに心の充足があるという考え方は、学校の日常にもそのまま当てはまる。子どもたちは、間違ったり、迷ったり、行きつ戻りつしながら、ようやくゴールにたどり着くことが多い。「ああ、うまくいかなかった」と思える時こそ、子どもの内面が豊かになっているとすれば、成功すること、さらさらとうまく流れることだけを目指さなくともよいのだ。

校長室の机の上には、いつの校長が残したのか、茶色く日焼けした一片の紙がある。

「小学校は『失敗が許されない場所ではなく、失敗してもやり直せる場所』であると伝えたい。子どもにも、大人にも」

私達の願いは、いつの時代も同じだ。

10月の生活目標 「自分にあった本を読もう」

図書委員会の人たちが、集会で「自分にあった本を選ぶ」ことについてお話しました。好きなテーマや自分が無理なく読める行数の本を選ぶことなどを教えてくださいました。好きな本に親しみながら、さまざまな本を手にとり、本の世界に浸る楽しみを知ってくれれば嬉しいです。

11月の予定

11月5日 授業参観 学校保健委員会

11月6日 6年生金沢自主プラン

11月7日 3年生消防署見学

11月9日 育友会 市P連大会発表

11月11日 4年生校外学習（小松市内）

11月12日 瓦照苑（能・狂言）公演会

11月25日 5年生校外学習（金沢方面）

中海小 10月学校だより